



北穂高温泉カール



病院機能評価の更新審査を終えて

国家公務員共済組合連合会 名城病院長

早川 哲夫

名城病院では「良い医療を安全、確実に」を病院の理念とし、その実践に努めています。第一回の受審は平成15年7月であり、当時のバージョン4を見事一回でパスしました。今回はバージョン5の受審であり、前回と比較し医療の質と安全に、より注目した審査でした。今回も無事一回でパスできました。常日頃の職員の研鑽と地域の皆様の御協力の賜物と深く感謝しております。

今回の更新成功は安全な医療の保証書ではなく、医療の安全をめざす枠組みの基本はそろっているのです。それを活用して、良い医療の安全、確実な提供に大いに努めなさいとのメッセージでしょう。

医療の安全は医療側の努力とそれを受ける患者側の協力がないと確実には達成できません。患者さん側の協力を得て重大な事故を防ぎたいと願っています。薬や検査などを受ける前にいつもとちがう点があれば確認の質問をしてください。

病院機能評価は病院が提供する「医療の質」の評価を本来の目的としています。しかし、「医療の質」の適切な評価方法はまだありません。この5年間の名城病院の主な改善点を挙げてみ

ましよう。

療養環境と患者サービスの面では、ミニギャラリーの開設、ポランテアによるコンサート、マジックショーなどの開催、敷地内禁煙などがあります。

医療の質と安全の面では、高性能画像診断装置の導入と増設による診断や手術の精度の向上と待ち時間の短縮、シネアンギオ装置の新調による心臓・脳血管内治療のグレードアップ、消化器内視鏡装置の更新、外来・病棟へのAEDの設置、医療安全リスクマネージャーの任命、カウンセリングによるメンタルサポートなどがあります。

オバマ上院議員と米民主党大統領候補の座を争ったクリントン上院議員が、日本の医療を視察して、日本は少ない医療費で世界一の医療を提供している、これは日本の医療従事者の聖職者のような自己犠牲の結果であると評しました。今後は、医師に週40時間勤務、週休2日制を確保し、長時間労働による注意力低下を避け、より一層安全な医療を提供したいと思っております。皆様には日本国民の安全確保のためには道路や軍備に劣らず医療も重要であると選挙を通じて国政に反映し、医療の安全確保に協力して頂きたいと思っております。

病院機能評価に合格！

名城病院は、財団法人日本医療機能評価機構が行っている病院機能評価の難しいとされるVer5審査を受け、平成20年10月に認定をいただきました。病院機能評価は、第三者の立場から病院の環境・施設、医療サービスの質、看護のレベルなど病院の体系的審査を行い、その結果、同機構の定める基準を達成したと認められれば認定証が発行されます。名城病院は、同機構の認定病院として患者さんに親しまれ信頼され、喜ばれる病院をめざしていきます。今後とも皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。



市民公開講座のお知らせ

テーマ 「慢性閉塞性肺疾患について」
～サイレントキラー～
講師 名城病院 呼吸器内科部長 鈴木 清
日時 平成20年12月11日(木)
午前11:00～12:00
会場 名城病院 地下1階 大会議室

ご自由にご参加ください。(無料)

お席に限りがありますのでご予約をおすすめします。

お問合せ 名城病院 公開講座係
ご予約 ☎(052)201-5311 内線2145

7月にシネアンギオ装置(心臓血管撮影装置)が新しくなりましたので、ご紹介いたします。

循環器科部長 岩間 芳生

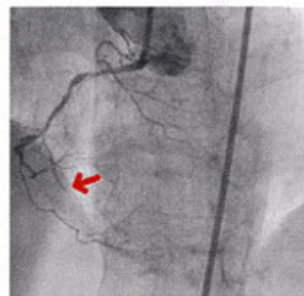


しめつけられるような痛みがおきます。そして冠動脈が閉塞して心臓の筋肉が壊死してしまう場合が「急性心筋梗塞」で、命に関わる病気です。

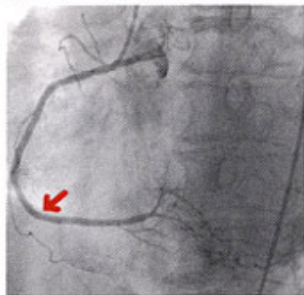
血管の狭窄や閉塞に対しては、風船(バルーン)やステントを用いたカテーテル治療によって、血管を再開通することができます。(写真②、③)

胸の痛みがある方は、循環器科にご相談ください。

② 治療前(閉塞した冠動脈)



③ カテーテル治療により改善



シネアンギオ装置って何?

カテーテルという細い管から造影剤を注入して心臓や全身の血管の状態を調べるための装置です。今回新しくなったものは、循環器系(心臓、大動脈など)の検査をするためのものです。

どこが最新式なの?

従来の装置に比べ、高画質でゆがみのない鮮明な映像が得られます。そして放射線被曝も大幅に低減されています。検査室だけでなく外来、病棟、面談室などでも映



① 最新式のシネアンギオ装置

像を見ることができるようになりましたので、検査結果をわかりやすく説明する事ができます。

また、ゆったりとした雰囲気検査を受けていただけるように、検査室内は木目調の「和み」の空間にいたしました。(写真①)

どんな病気に使うの?

狭心症や心筋梗塞、心臓弁膜症や心不全、大動脈瘤や閉塞性動脈硬化症といった大動脈の病気などに用いられます。

最近では、メタボリック症候群や高血圧・高脂血症・糖尿病などの生活習慣病や喫煙が原因の動脈硬化による病気が増加してきています。「狭心症」は心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管(冠動脈)が動脈硬化をおこして狭くなる病気で、急いで歩いた時や階段を上った時などに、胸が

医聖ヒポクラテスの木

7月10日当院南東植え込みにおいて、ヒポクラテスの木の植樹式が行われました。

ヒポクラテス(前460~375年)はギリシャの大医学者で医学の父と呼ばれ、ギリシャ、コス島の大きなすずかけの木(プラタナス)の下で、若い医人に医学を教えたという話が伝わっています

昨年10月、共済医学会を名古屋で開催した記念に、虎の門病院分院シミュレーション・ラボセンター(医師・看護師等研修施設)

の庭で育てられたプラタナスの若木を、名城病院が第1号として譲り受けました。

この木は、新潟大学の蒲原博士が1969年にギリシャのコス島にある伝説の木から採った実を、日本に持ち帰り苗を育てられたヒポクラテスの木の子孫で、由緒あるものです。

今後、共済医学会ではこの系統の苗木を、医学会を開催するたび全国の共済病院に贈呈していくそうです。

植樹式は、早川院長、

木本診療部長(現 副院長)、佐々木事務部長、野村看護部長により、ヒポクラテスの精神を刻みながら将来多くの医療人が育っていくように祈念し、滞りなく執り行われました。



苗木を植える早川院長ら



副院長を拝命して

副院長 木本 英三

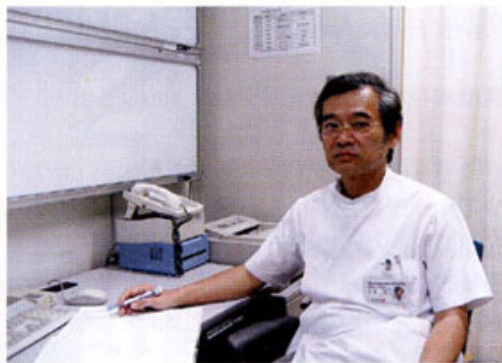
この10月1日に、診療部長に兼ねて副院長を拝命しました。名城病院に消化器内科医として赴任してから19年目になります。

当初は、建物の古さと独特の雰囲気には驚きました。一口で言うと大変のんびりした病院で、目いっぱい働かなくても経営状況はそこそこ黒字だし、当直も朝まで眠られないということはほとんどなく、牧歌的そのものでした。

医療情勢の大きな変化と新棟移転とともに、すっかり変わりました。理念、接遇、医療安全、インフォームドコンセント、センター

化、救急体制、病診連携、療養病棟、研修指定病院、DPCなどなど。赴任当初にみえたドクター達もすっかり変わり、新しい職種、新しい人々も増えました。

プライベート面でも随分変化がありました。いま、妻は開業医で日夜忙しく、二人の子供の教育に関して協力が足りないとい非難の嵐です。父は88歳、母は84歳となり、別に暮らしていますが、足腰の立たなくなった父親のため、ヘルパー、ケアマネ、施設入所と、要介護老人の家族として正直苦勞しています。自身も、禁煙とその後の肥満、大腸ポリープを経験し、



「患者」そのものです。

名城病院は、厳しさを増す医療情勢の中でも、日夜進歩し、高度化していく医療を提供し続けていかなければなりません。

患者あるいは患者家族としての当然の気持ちを理解できる副院長として汗を流していきたいと思っています。



8階病棟の看護師が認定看護師を取得しました

皮膚・排泄ケア認定看護師 角 南 美 帆

認定看護師って？

必要な教育課程を修了し、特定の分野において熟練した看護技術と知識を有することを日本看護協会に認められた看護師のことをいいます。

患者さんや家族への「実践」、医療スタッフへの「指導」、「相談」の3つの役割があります。現在、「皮膚・排泄ケア」を含め「感染管理」「緩和ケア」など、19分野



あります。

皮膚・排泄ケアとは？

ただれた皮膚やそのリスクの高い皮膚をもつ患者さん、排泄障害のある患者さんに対して健康をとり戻すケア、予防をします。

具体的には？

- たとえば、
- ①人工肛門、人工膀胱をもつ患者さんの術前から社会復帰までの援助
 - ②褥瘡（床ずれ）、術創のトラブルのある患者さん、リスクのあ

る患者さんへの援助

- ③尿失禁のある患者さんへの自己導尿指導、便失禁のある患者さんへの排便調節、失禁に伴う皮膚のただれに対する援助

などがあります。

活動内容は？

現在は週1回、各病棟を回って、病棟スタッフとともに皮膚障害のある患者さんを訪問し、情報交換や話し合いをおこない、具体的なケア内容の提案をしています。

医療の高度化に伴って、看護師は多くの専門知識や技術、素早い判断が要求される状況にあります。その中でスキンケアは、常日頃患者さんに接している看護師にとって大変身近なものです。

私を資源として活用することで、根拠のある質のよい看護を提供でき、患者さんが安心して、満足できる療養生活を送ることができればと考えております。





福祉用具展示相談会を開催して

医療福祉相談室（医療ソーシャルワーカー） 岩本 純奈

医療福祉相談室では、患者さんやご家族が抱えている心理・社会的問題をよくうかがった上で社会福祉の立場から解決できるよう一緒に考えさせていただいています。相談の内容は退院後の生活に関することが全体の相談の半分以上になります。

疾病やケガをきっかけに、入院前とは異なる状態で退院すると多くの方が不安になるのも無理もないことと思います。

特に、整形外科で手術を受けられた方は数ヶ月にわたるコルセットの装着を余儀なくされることも少なくなく、高齢者に限らず比較

的年齢の若い患者さんからの相談もあります。

内容はシャワー椅子や浴槽台等入浴に関する福祉用具の相談が多いです。そこで福祉用具展示相談会を開催することにしました。



名城病院診療等のご案内

<http://www.meijohosp.jp>

■ 診療科目

内科・循環器科・小児科（小児循環器）・外科
整形外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科
産婦人科・眼科・歯科口腔外科・神経内科

※神経内科及び午後の診療等、詳しくは 医事課 (052)201-5311
内線2132にお問い合わせ下さい。

※医療福祉に関するお問い合わせは、
医療福祉相談室 内線 5105まで

※医療機関の方へ
病診連携に関するお問い合わせは、
病診連携室 内線 2151まで

■ 診療受付時間

新患受付 午前8:30～11:30まで
再来受付 午前8:00～11:30まで

■ 面会時間

平日 午後0:30～8:00まで
土・日・祝 午後0:30～8:00まで
但し、①小児科病棟は、午後7:00まで
②ペビーの面会は、
午後0:30～1:00まで
午後2:30～3:30まで
午後5:30～6:30まで の3回です。
③ICU室への面会は30分以内に限定させていただきます。

■ 診療案内

休診日 土曜日・日曜日・祝日
年末年始（12月29日～1月3日）・創立記念日（11月6日）

■ 所在地

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-3-1
TEL (052) 201-5311 FAX (052) 201-5318



今年は8月8日（金）に専門業者と直接相談できる場を設けました。

必要な福祉用具を実際に自分の目で見て、手にとり試用することができたので、これまでよりも充実した相談ができたように思います。その場で購入していただくことはできませんが、お気に入りのものを見つけた方、退院間近だからと自宅訪問の予約をしている方なども見受けられました。

この相談会の企画は今回で3回目ですが、回を重ねる毎に反響も大きくなっています。

今後もこのような相談会の開催を継続していきたいと考えています。また、患者さん、ご家族の中で医療福祉相談室に相談のご希望がありましたら予約制で受けさせていただきます。まずは主治医、看護師等にご相談ください。

編集後記



ドイツの旅

今年何年ぶりかで海外旅行に出かけた。出発前日の豪雨のせいで、当日朝から交通機関がストップ状態！だが、この時セントレアまでタクシーで直行できたのは人との出会いがあったから…。今回いい旅になりそうだと直感的に受け止めた。旅のメインであるノイシュバンシュタイン城（新白鳥城）はドイツの山麓に建つ白亜の美しい城。その感動を言葉で表現するのは難しい。写真や絵ハガキで観るだけでなく、ぜひ機会があれば観光に訪れてみてはいかがでしょうか。旅を通じて感じることは、人と人との出会い。初めて出会った人たちとの何気ない会話や行動、その時の感情が旅の思い出として自分の心に刻まれるのです。

小澤